



ほぼ週刊 輝けとわに 第362号

2024.4.19

〒247-0005 横浜市栄区桂町84-14 TEL: 892-2155 FAX: 892-9241

横浜市立本郷中学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/hongo/>

校長 湊 浩一

【学校教育目標】 自ら学び ひとつつながり しなやかに未来を拓く人

【学校スローガン】 あ（挨拶） せ（清掃） か（感謝） け（けじめ）

部活動考

校長 湊 浩一

新入生代表の言葉にも、「部活動が楽しみです」とありました。多くの中高生にとって、部活動は生活の一部となっているはず。そこで今日は、部活動について考えてみました。

まず、部活動の定義になります。部活動とは、学校教育の一環として、教育課程との関連を図り、校長が認めた指導者（顧問）のもと、生徒の自主的、自発的な参加により、主に授業後や休日等に行われる課外活動です。部活動は学校が設置するものであることから、顧問と生徒が共に信頼し合い、共通の目標の下に、活動するものとなります。ちなみに、部活動で得られる力を中高生の保護者に聞いたアンケートがあります。結果は「友人や仲間」（81%）、「基本的な生活習慣」（43%）、「人間性（思いやり）」（35%）、「社会人基礎力」（25%）というものでした。

さて、僕は部活動がやりたくて教員になりました。なぜなら、中高の部活動は生活のすべてとはいませんが、かなりの熱量を傾けていたからです。さらに、サッカーが好きで好きでたまらなかつたこともあります。時代に逆行するようですが、校長として、できる範囲で本郷中の部活動を存続させたいと考えています。そのため、教職員にも協力をお願いしているところです。

ただ、部活の名門校として県下に名を馳せた、かつての本郷中ではありません。ですから、生徒の皆さんにとっても教員にとっても、魅力ある部活動となることが必要だと考えています。そのためにも、生徒の皆さんは自主的自発的に部活動に参加してください。やらされるのではなく技能や記録などの目標や課題を顧問と設定し、それをクリアできるよう取り組みましょう。さらに、仲間との人間関係づくりは、コミュニケーションスキルを習得する絶好の機会です。また、ワーク・ライフ・バランスは教員だけの課題ではありません。生徒の皆さんにとって、勉強する時間や家族と過ごす時間は健全な成長には欠かせない時間です。本中生の皆さんには、部活動をおして全人的な成長を遂げてほしいと願っています。それが、部活動を維持する理由です。

昔の話ですが、子どもたちが「何部に入ろう」と悩んでいたので「学校で一番強い部活に入ったら」と助言しました。息子は野球部、娘たちは陸上部を選びました。おかげで、3人とも県大会まで行きました。部活動ができるのも、中高の6年間です。大学の体育会は、狭き門です。

令和6年4月22日～26日の予定【A】

日 曜	1	2	3	4	昼	5	6	掃	備 考
22 月	月2	月3	月4	月5	○	月6	*	○	PTA運営委員会 副教材費支払日
23 火	火1	火2	火3	火4	○	火5	総合	軽	1年⑥火6 完全下校
24 水	す1	す2	す3	す4	○	学活	*	○	1年①②心電図 本入部終了
25 木	国語	数学	理科	社会	○	英語	*	軽	市学力学習状況調査
26 金	金1	金2	金3	金4	○	金5	総合	○	中央委員会

4月22日（月）⑤授業参観 ⑥学級懇談会 放課後：教育課程説明会、部活動保護者説明会